

岩手県感染症週報

平成17年第23週（6月6日～6月12日）

岩手県結核 感染症情報センター

第23週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症
- 4 類感染症

患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

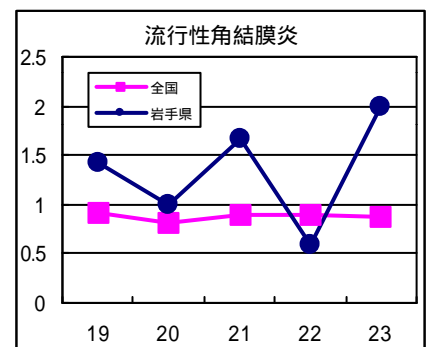
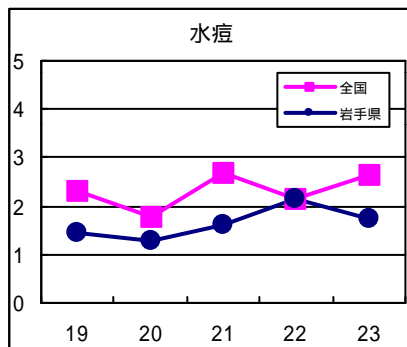
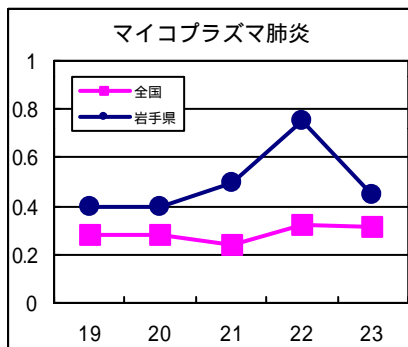
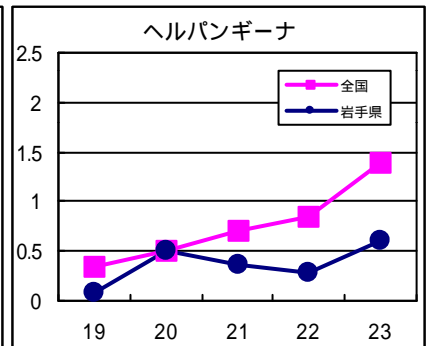
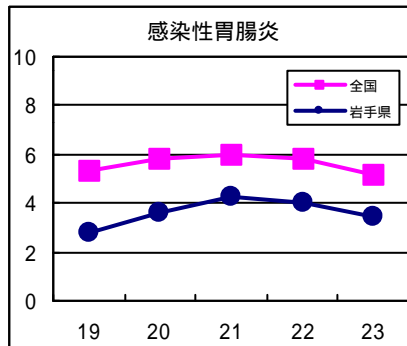
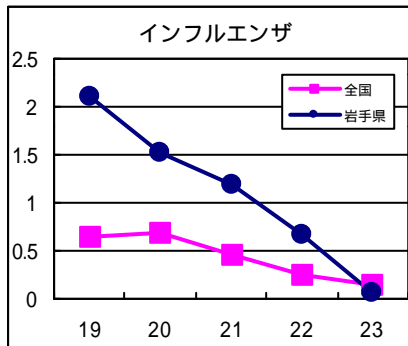
- ・アメーバ赤痢の患者の報告が1例ありました。患者は30歳代の男性です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・県央部で流行が続いていた感染性胃腸炎は、水沢地区で依然として流行が続いています。前週まで患者が多かった花巻、北上地区では減少傾向にありますが、水沢地区では定点当たり患者数が前週の9.1人から13.3人と増加しています。
- ・ヘルパンギーナが盛岡地区で増加しています。ヘルパンギーナは、ウイルス性の夏かぜの一種で、症状は2～4日の潜伏期の後、突然の発熱及び口腔粘膜の発赤と水疱が特徴的です。患者の年齢層は4歳以下がほとんどであり、感染経路はせきなどによる飛沫感染と接触感染が多くなっています。特に、便からは回復後も2～4週間の長期にわたりウイルスが排出されるので注意が必要です。
- ・水痘は、久慈地区で前週に引き続き患者数が多い状態が続いているほか、盛岡地区でも患者が増加しました。
- ・流行性角結膜炎は、ゴールデンウィーク明けから盛岡地区で増減を繰り返しており、この週の同地区の定点当たり患者数は5.0人と、最近1年間で最も多くなっています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		19	20	21	22	23		
インフルエンザ	岩手県	2.1	1.53	1.19	0.66	0.06	↓	
	全国	0.64	0.69	0.46	0.25	0.14		
咽頭結膜熱	岩手県	0.13	0.08	0.05	0.16	0.32	↑	
	全国	0.27	0.31	0.42	0.46	0.53		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.55	0.74	0.71	0.76	0.68	→	
	全国	1.5	1.91	1.85	1.94	1.85		
感染性胃腸炎	岩手県	2.76	3.63	4.26	4.03	3.45	↓	
	全国	5.32	5.81	6.02	5.85	5.2		
水痘	岩手県	1.45	1.29	1.61	2.16	1.74	→	
	全国	2.32	1.76	2.68	2.15	2.66		
手足口病	岩手県	0.13	0.26	0.42	0.42	0.34	→	
	全国	0.33	0.51	0.58	0.59	0.8		
伝染性紅斑	岩手県	0.05	0.13	0.13	0.21	0.21	→	
	全国	0.26	0.42	0.4	0.45	0.51		
突発性発疹	岩手県	0.37	0.34	0.55	0.21	0.45	→	
	全国	0.67	0.73	0.76	0.74	0.78		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.5	0.37	0.29	0.61	↑	
	全国	0.34	0.5	0.71	0.85	1.39		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.39	0.47	0.24	0.66	0.45	→	
	全国	1.19	1.1	1.09	1.35	1.25		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0.08	0	0.08	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.42	1	1.67	0.58	2	↑	
	全国	0.92	0.82	0.9	0.9	0.88		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	33	25	22				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.02	0.02	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.4	0.4	0.5	0.75	0.45	→	
	全国	0.28	0.28	0.24	0.32	0.31		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.01	0.03	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ↓：患者が発生しています
- ↑：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 19	20	21	22	23	累計	23	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	23	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	13	247	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	23	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	6	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	1	111	579	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	1	2	2	288	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	10	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	24	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	2	0	124	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	5	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	0	0	2	1	56	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	29	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	17	452	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	24	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	5	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	1	0	1	0	2	6	77	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	15	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	8	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	1	6	221	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	34	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	32	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	27	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	4	62	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

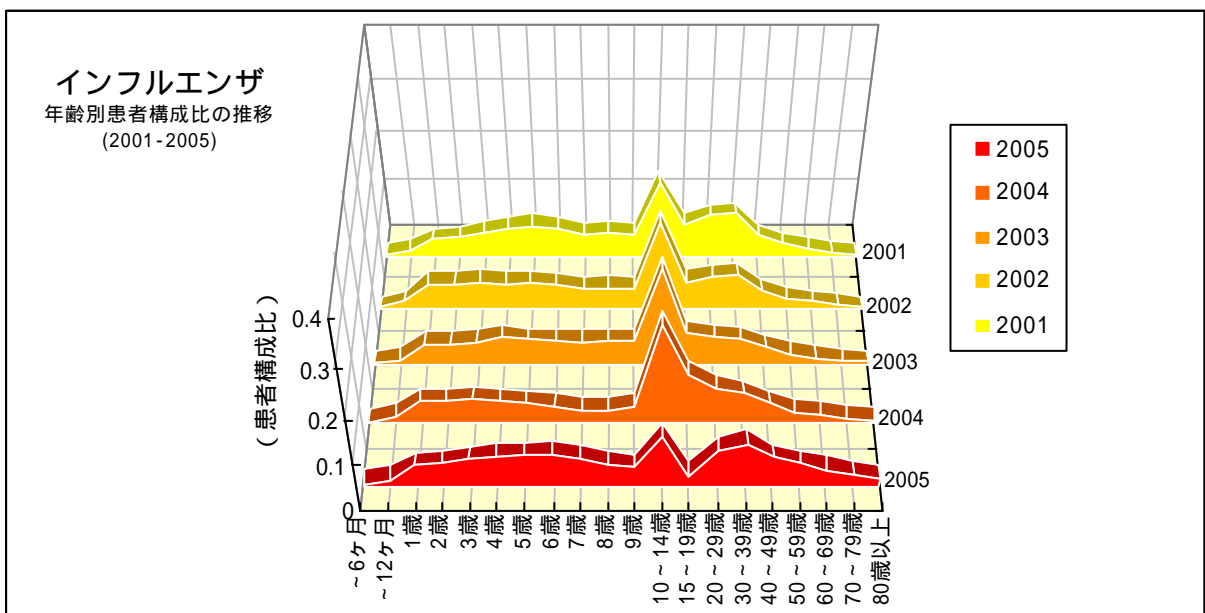
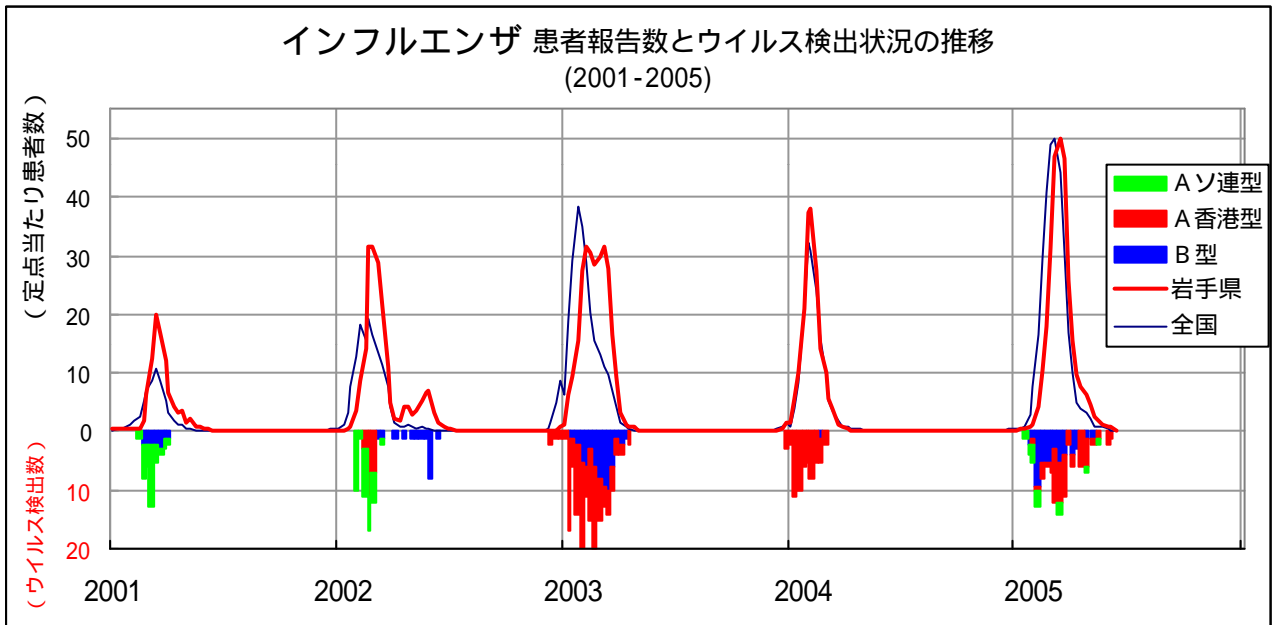
今注目の感染症

インフルエンザ（2004 - 2005シーズン）の概要

- ・第5週（1/31-2/6）から患者数が増え始め、第10週（3/7-3/13）が流行のピークでした。例年より約2週ほど遅れて流行が始まり、5月にはいっても一部地域では患者発生が続きました。患者報告数は過去5年間で最も多くなっています。
- ・例年とは患者の年齢層パターンが異なっています。
 - 例年と比べて3～7歳及び30歳代の患者が多い
 - 50歳代以上の患者は例年の2倍以上
 - 10～14歳の患者は例年の約半数程度
- ・AH1, AH3, Bの3タイプのウイルスが同時に流行しました。流行株のHA抗原は今シーズンのワクチン株に類似しています。

環境保健研究センターが分離したウイルス株（6/14まで）

Aソ連型：11株 A香港型：55株 B型：40株



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを3例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からA群ロタウイルスを1例検出しました。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関から

- ・流行性のもの全くないが、ヘルパンギーナが少し出始めた。

高病原性鳥インフルエンザ

WHOに報告されたヒトの高病原性鳥インフルエンザA(H5N1)感染確定症例数（2005/06/14現在）

発症日	ベトナム		タイ		カンボジア		合計	
	確定症例数	死亡例数	確定症例数	死亡例数	確定症例数	死亡例数	確定症例数	死亡例数
2003/12/26 ～ 2004/3/10	23	16	12	8	0	0	35	24
2004/7/19 ～ 2004/10/8	4	4	5	4	0	0	9	8
2004/12/16 ～ 現在	55	18	0	0	4	4	59	22
合計	82	38	17	12	4	4	103	54

注）確定症例数は死亡例数も含む。

WHOは検査により確定された確定例だけを報告する。

集団感染情報

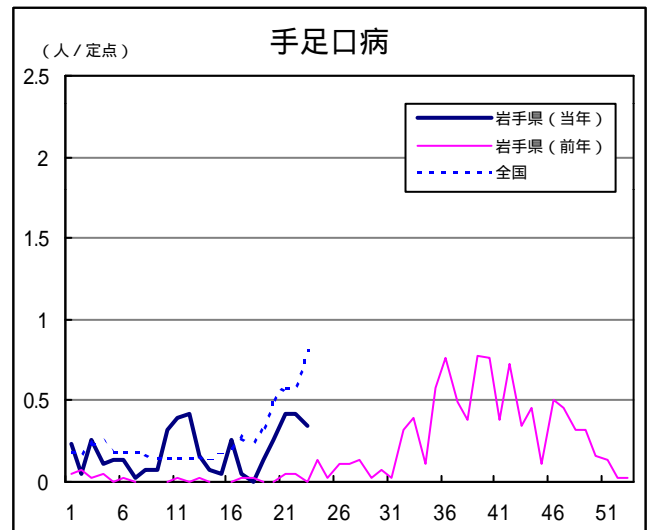
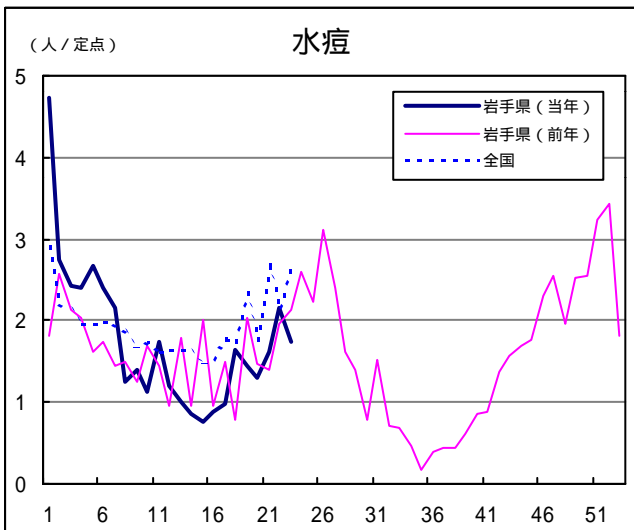
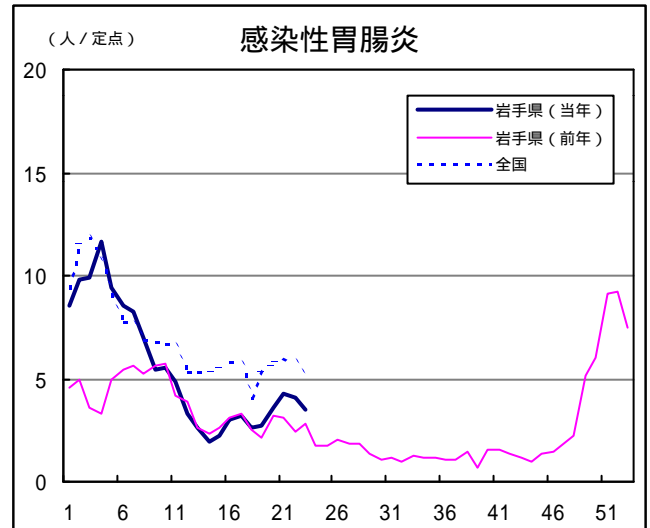
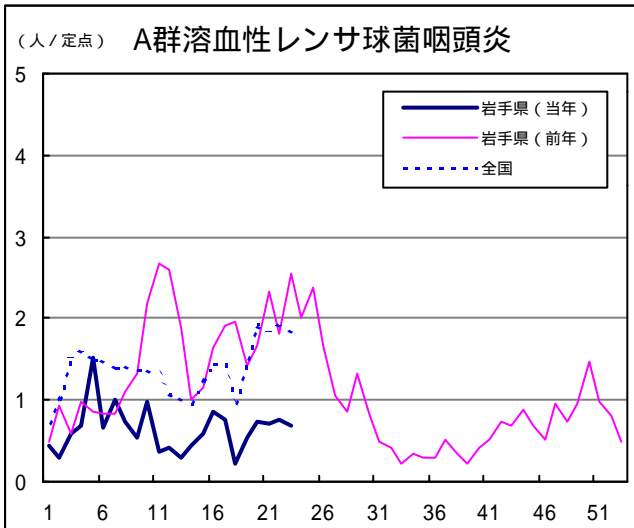
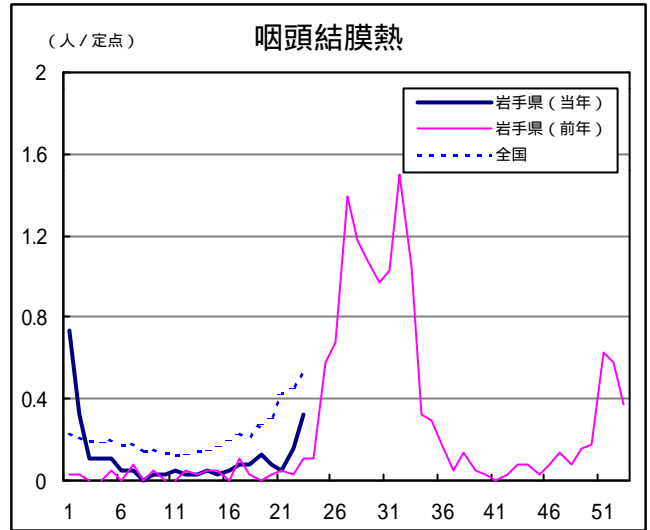
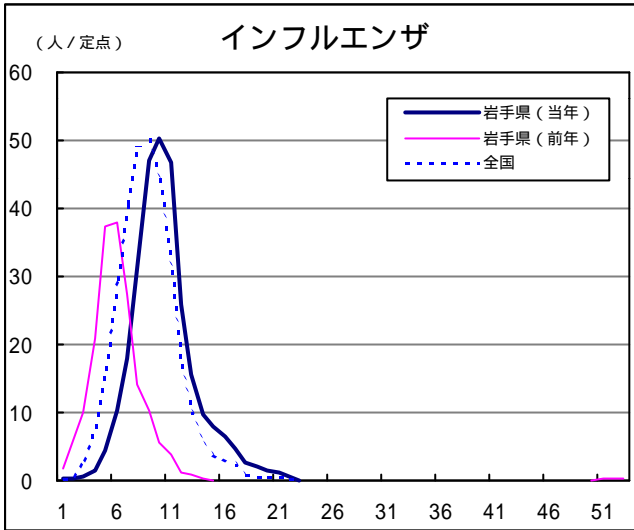
- ・この週には集団感染の情報はありません。

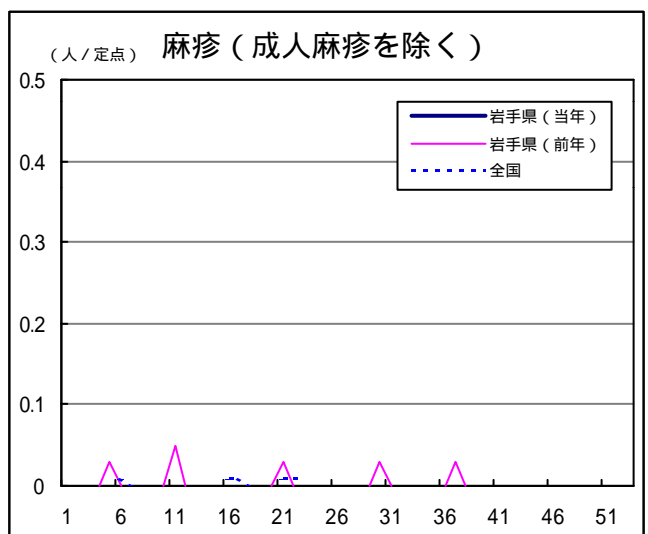
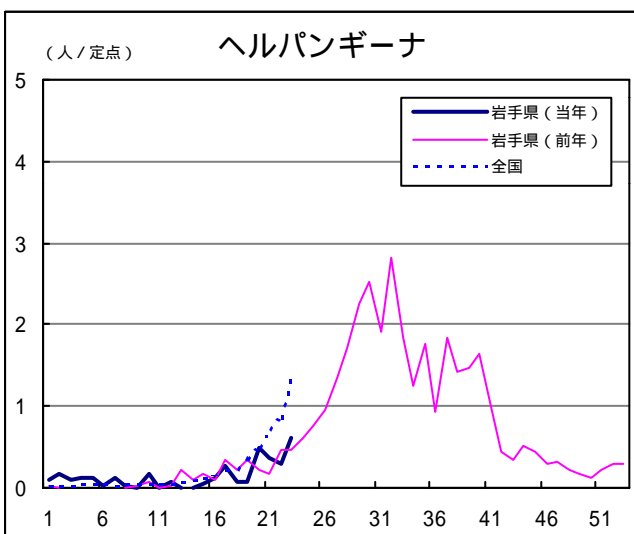
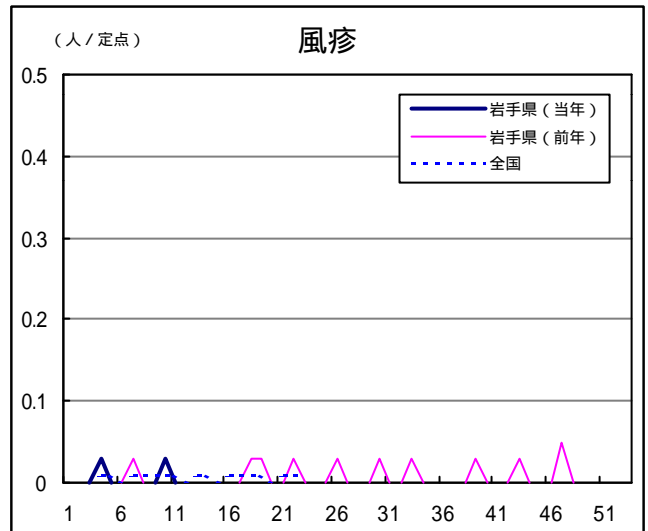
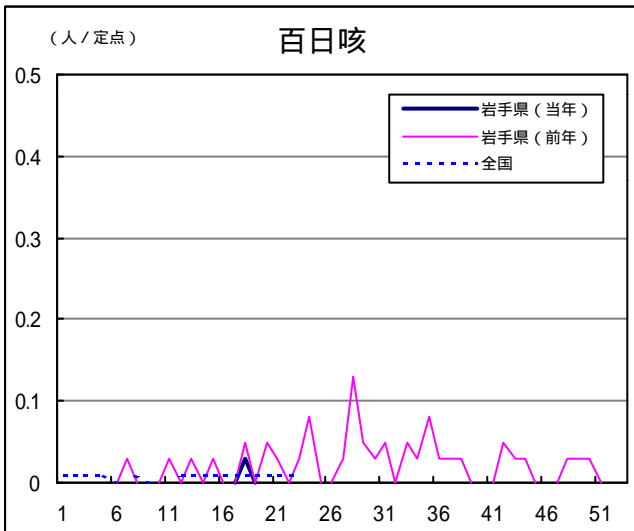
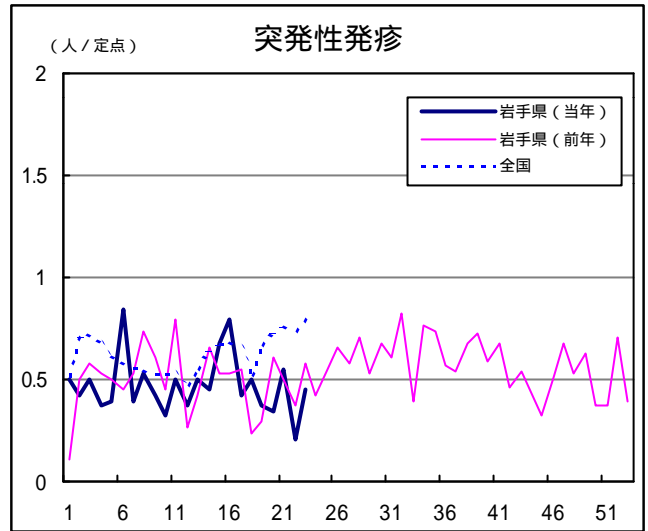
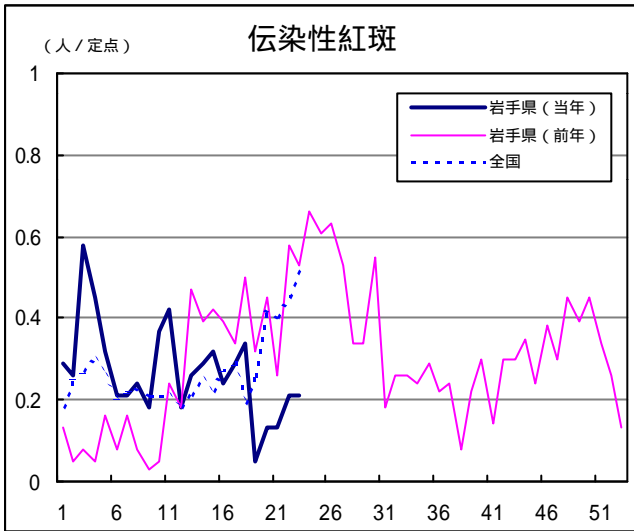
Q & A

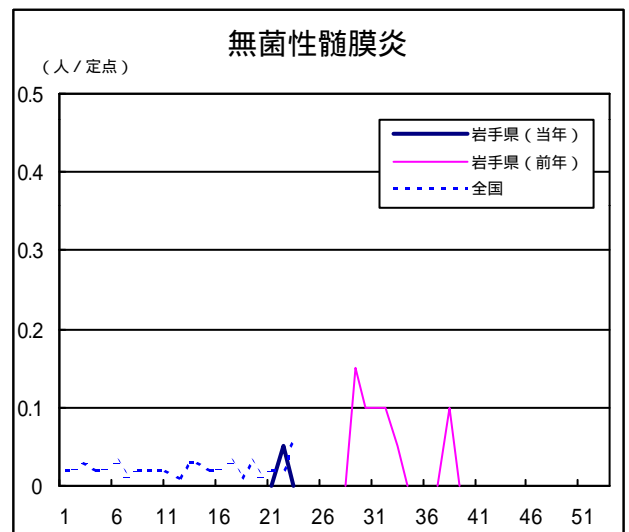
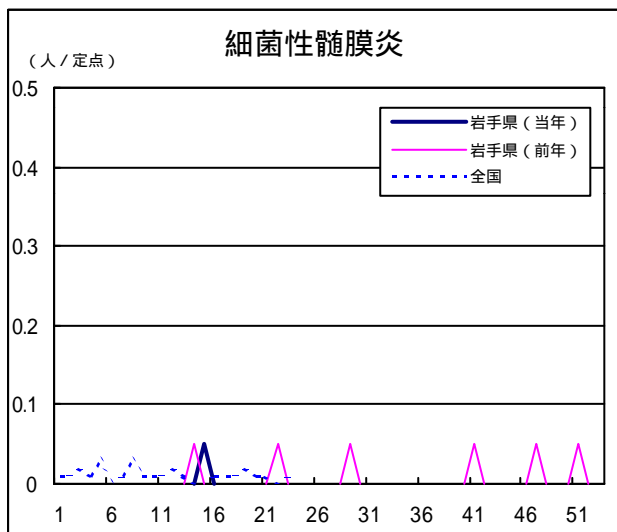
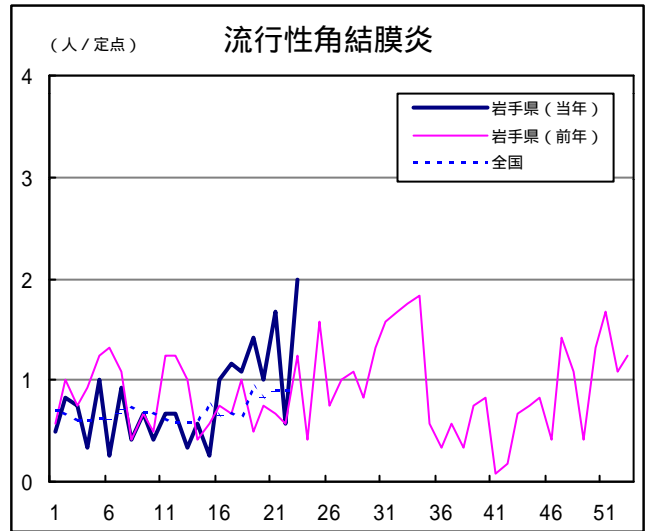
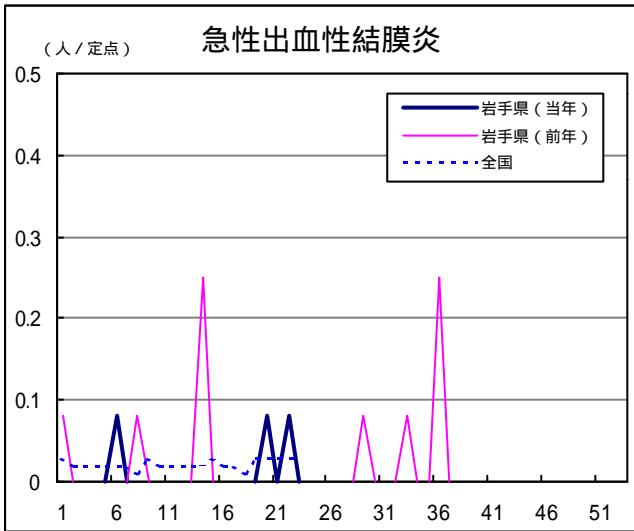
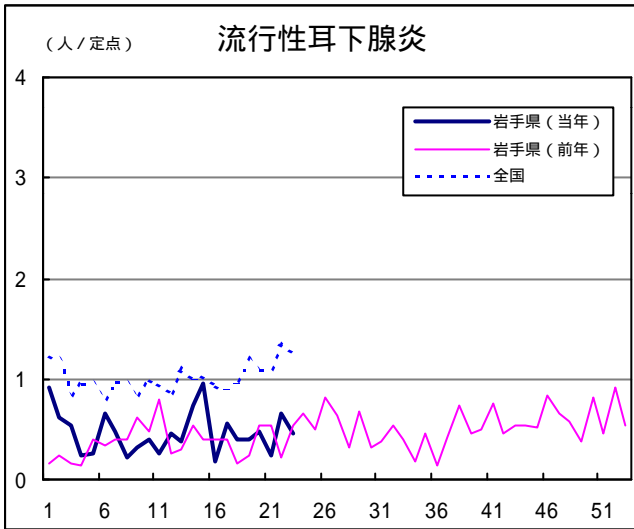
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

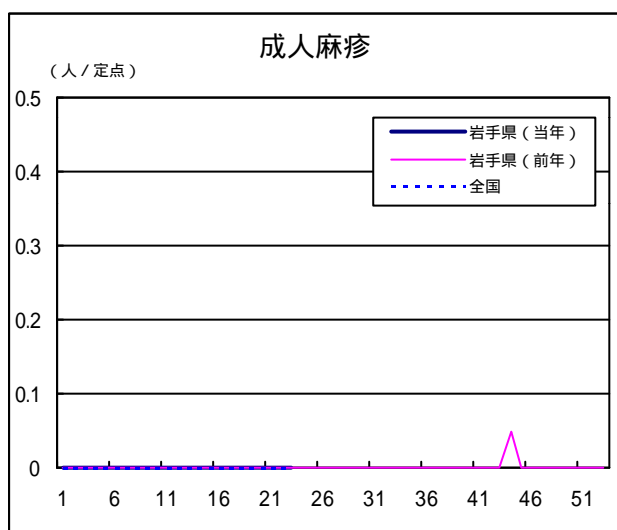
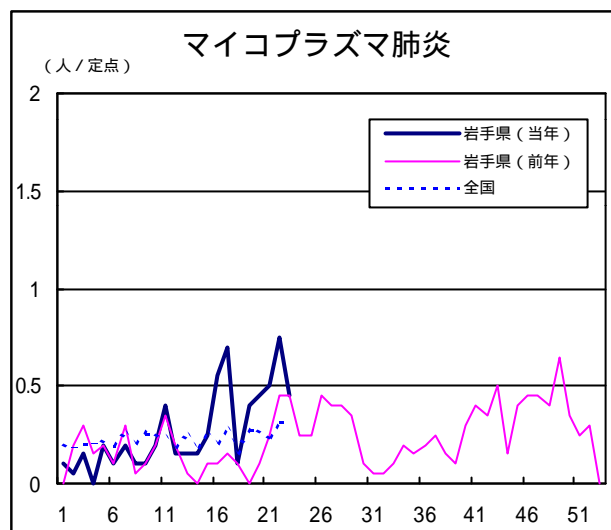
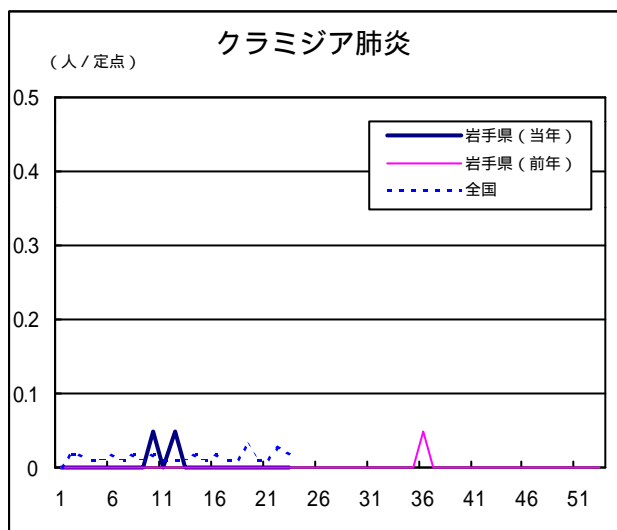
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第23週 平成17年6月17日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>